稲作情報

№8「出穂予想～病害虫対策」

ＪＡえちご中越 さんとう営農センター
TEL（０２５８）４１-２８８７

令和５年　６月２０日

速報　コシヒカリ生育状況（6月19日調査：生育調査地点平均値）

梅雨入り（6/11）以降、くもりや雨の日が多く夜温の高い気象条件が続いたことから、「長草・多げつ＝軟弱型」のイネ姿となっています。

- 草丈：指標値比 119%「長い」
- 茎数：指標値比 112%「多い」ほ場差：大
- 葉数：指標値差 +0.7 葉「やや早い～早い」
- 葉色：指標値差 +3.1「やや濃い～濃い」

幼穂形成期および出穂期は「やや早まる～早まる」見込みです。地区・ほ場ごとの生育較差が大きいことから、ほ場ごとの“生育診断”（幼穂の確認）にもとづき適期に穂肥を施用しましょう!!

地区	田植日	草丈（cm）	茎数（本/㎡）	葉数（葉）	葉色（SPAD）
寺　泊	5/ 7	45.1	508	9.2	45.1
和　島	5/11	44.1	459	9.2	41.0
出雲崎	5/ 5	44.8	475	8.6	38.5
与　板	5/13	40.5	326	8.7	42.3
三　島	5/10	44.0	377	8.8	43.3
越　路	5/12	44.6	498	8.7	41.5
平　均	**5/10**	**44.0**	**449**	**8.9**	**42.1**
6/20 指標値	5/10	37.0	400	8.2	39.0

速報 その②

上記の速報：「コシヒカリ生育状況」と同様に早生品種の出穂期も「平年より２日～３日早まる」見込みです。
早生・多収性品種の収量（籾数）を確保するには、１回目の穂肥施用時期が特に重要になります。下表の「穂肥時期・施肥量の目安」を参考に、遅れずに穂肥施用してください。

１．出穂期及び穂肥時期（予想）

６／２０現在の予想値です。
早生品種の穂肥は、遅れずに施肥してネ!!

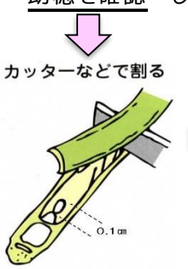
（１）幼穂形成期及び出穂期予想と穂肥時期・施肥量の目安（令和５年６月20日現在）

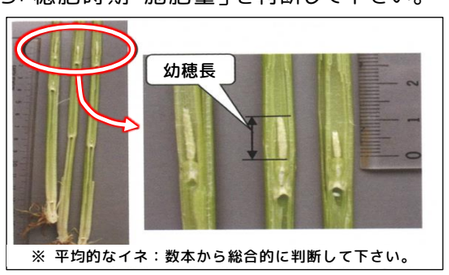
品種名	幼穂形成期	出穂期	10a窒素成分（2回の合計）	施用時期の目安　*（　）は出穂前日数	
				1回目	2回目
コシヒカリ	７月10日	８月　２日	1～2.5 kg	7/15～18（18～15）	7/23　（10）
ゆきん子舞	７月　１日	７月23日	5～6 kg	6/28～30（25～23）	7/ 9　（14）
こしいぶき	７月　３日	７月25日	2～3 kg	7/ 2　（23）	7/11　（14）
ゆきの精	７月　３日	７月25日	2～3 kg	6/30～7/4（25～20）	7/11～15（14～10）
ゆきみらい	６月26日	７月18日	5～6 kg	6/25　（23）	7/ 5　（13）
わたぼうし	７月　１日	７月23日	2～3 kg	7/ 1～7/3（22～20）	7/11～13（12～10）
こがねもち	７月　７日	７月30日	1～3 kg	7/12～15（18～15）	7/20　（10）
五百万石	６月28日	７月20日	1～2 kg	6/30　（20）	7/ 8　（12）
たかね錦	７月　１日	７月23日	1～2 kg	7/ 3～7/5（20～18）	7/ 9～13（14～10）

※ 適用移植期は、稚苗で５月５日～10日です。
必ず、ほ場ごとに生育診断 ＝“幼穂を確認”してから「穂肥時期・施肥量」を判断して下さい。

（２）幼穂長と出穂前日数の目安

出穂前日数（日）	幼穂長（cm）
24	0.1
20	0.2
18	0.5～1.0
12	4.0～6.0





※ 平均的なイネ：数本から総合的に判断して下さい。

「注意！警戒!!」↓
いもち病の感染好適条件が断続的に発現しています!!

農作業中の「事故や熱中症」には、十分注意してネ!

（３）１回目穂肥施用時の生育量の目安（主要品種）

項　目	ゆきん子舞	こしいぶき	ゆきの精	わたぼうし	ゆきみらい	五百万石	たかね錦
草丈（cm）	65	58	65	65	55	60	65
茎数（本/株）	30	28	25	24	25	22	22
葉数（葉）	10.5	10.7	11.0	10.5	9.7	11.0	11.0
葉色（SPAD）	37～39	35～37	35	38	41	38	39
病害虫	葉いもち・紋枯病　等が発生していない						

※ 窒素の多用は病害の発生を助長します。→ 必ず病害の発生状況を確認して下さい。

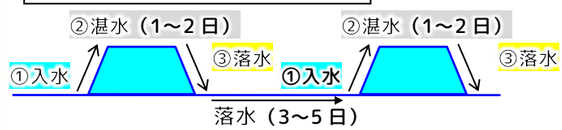
２．SDGs な水管理

「小ヒビ中干し」→「浅水の間断灌水」→「飽水管理」を徹底!!

田面に「小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度」になったら中干しを終了し、「浅水の間断灌水」から徐々に「飽水管理」に移行しましょう。中干しは遅くとも生殖生長への転換期（出穂の１ヵ月前）までに終了します。なお、**長期間にわたるタメ水は厳禁です。**（根腐れを助長→２日以内に落水!!）

また、中干し開始が遅れた圃場や中干し効果が不十分なほ場を中心に、茎数過剰や葉色の濃いほ場があります。過剰な分げつは、倒伏を助長するとともに登熟がバラつき品質低下の要因となります。該当するほ場では、中干しを延長・継続して「根の健全化と稲体の活力強化」に努めましょう!!

“浅水の間断灌水”のイメージ



① 入水	田面の高い部分が隠れる程度まで入水！
② 湛水	根の機能維持のため、湛水期間は２日以内！
③ 落水	入水完了から２日以内に水尻を払って落水！

「地耐力の確保が不十分」で中干し期間を延長（長く）したい場合は …
「浅水の間断灌水（①入水→③落水を繰り返すこと）」によって、大ヒビを入れないように水管理しましょう!!

３．病害虫対策

⚠注意 **「葉いもち病」の発生に注意・警戒してください!!** ⚠注意

（１）**葉いもち病** … 6/11「梅雨入り」→ いもち病の感染好適条件が発現しています!!

いもち病は、感染（感染好適条件の発現）から約１週間後に病斑を確認することができます。発生しやすい地域や品種、前年に多発生したほ場内をこまめに観察して、葉いもちの発生を確認した場合には早急に薬剤防除を実施して下さい。なお、今後の天候次第（**１カ月予報：平年同様にくもりや雨の日が多く、気温は高い**）では発生・被害が拡大する恐れがありますので、注意して下さい。

対象病害	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘　要
いもち病	カスミン液剤	1,000 倍	穂揃い期まで
	ゴウケツ粒剤【＊】	3～4kg/10a	出穂５日前まで
	ブラシンフロアブル・粉剤【＊】	ﾌﾛｱﾌﾞﾙ：100ℓ/10a（1,000 倍） 粉剤：3～4kg/10a	収穫７日前まで ごま葉枯病　等

※【＊】のゴウケツ剤・ブラシン剤は、特別栽培米に使用できません!!　ご注意ください。

（２）**斑点米カメムシ … 本田・農道畦畔における除草管理を徹底!!**

気温の上昇とともに、カメムシ類の発生密度（確認地点率）が高まってきています。
→ 本田内（ヒエ・ホタルイ）および農道・畦畔　等（イネ科雑草）の雑草管理（草刈り・除草剤散布）を徹底することにより、斑点米カメムシ類の発生密度を抑制しましょう！

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～
次回稲作情報：７月初旬「生育状況、穂肥対応、病害虫対策」（予定）